

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

## 平成27年度病害虫防除情報第8号

ハスモンヨトウの発生状況についてお知らせします。  
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

**県内各地のフェロモントラップで、ハスモンヨトウの誘殺数が増加しています。**  
**今後、野菜・花き類での被害が予想されますので、適期防除に努めてください。**

1 作物名 野菜・花き類全般

2 病害虫名 ハスモンヨトウ

3 発生状況(経過)

1) 県内4カ所(宮崎市、都城市、西都市、国富町)に設置しているフェロモントラップへの誘殺が8月下旬以降急増している(図1)。9月第1半分から第4半旬までの合計誘殺数は下記のとおりである。

宮崎市(佐土原) 誘殺頭数	: 1, 921頭(前年503頭、平年879頭)
都城市(母智丘)	": 1, 219頭(前年132頭、平年638頭)
西都市(茶臼原)	": 1, 777頭(前年426頭、平年917頭)
国富町(岩知野)	": 644頭(前年237頭、平年520頭)

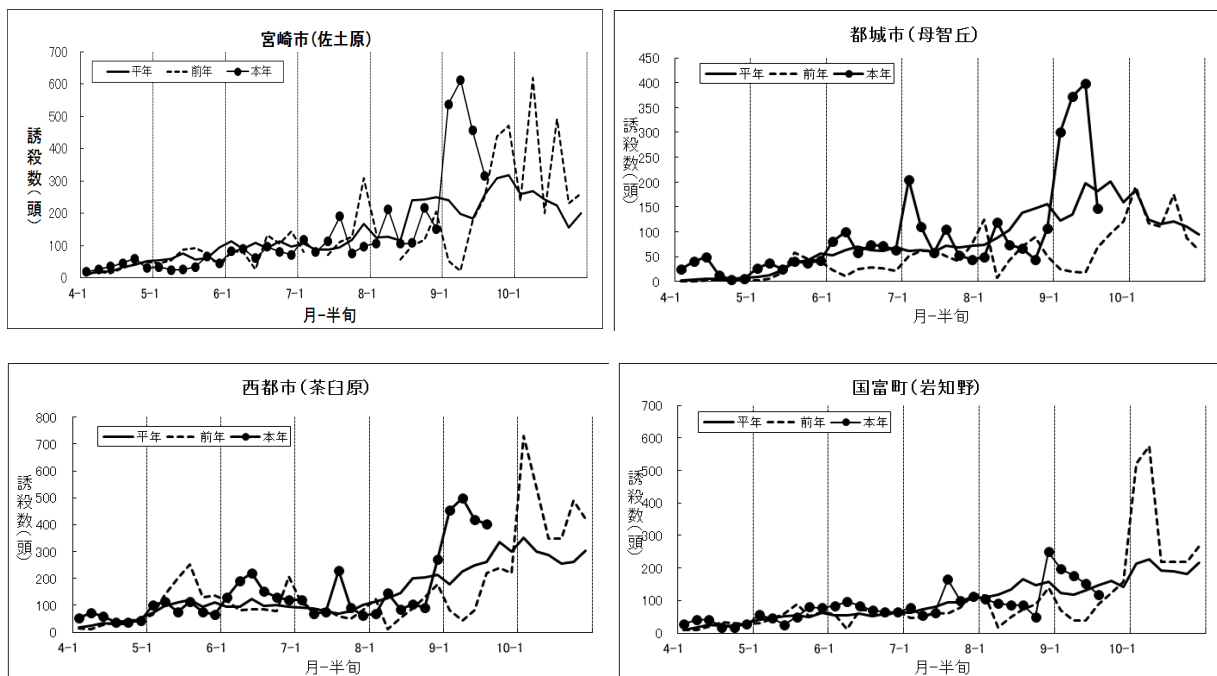


図1 ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺状況(2015)

※台風接近によるトラップ回収に伴い、5月第3半旬(5/11-12)と8月第6半旬(8/24-25)は一部欠測

#### 4 防除上の注意

- 1) ほ場ごとに発生が異なるため、定期的にはほ場を見回り、早期発見に努める。一度防除したほ場でも、成虫が飛来して産卵するので、引き続き発生に注意する。
- 2) 防除適期は、卵塊が葉裏に産卵され、孵化した若齢幼虫が集団となって食害する時期である。周囲に分散した中・老齢幼虫は、薬剤の効果が低下する。
- 3) 施設栽培では、開口部に防虫ネットを設置し成虫の侵入を防ぐ。ただし、成虫は作物以外にも産卵するため、ネット上に産卵すると、編み目から孵化幼虫が施設内に侵入するので注意する。
- 4) 次期作付に当たっては、育苗期から防除を徹底し、本ほハウスには防虫ネットを必ず設置し、害虫の侵入を防止する。
- 5) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる系統薬剤とのローテーション散布に努める。
- 6) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会する。

#### 《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課  
（病虫害防除・肥料検査センター） 久野  
TEL：0985-73-6670 FAX：0985-73-2127  
E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp